

小城の未来に

人を繋ぎ・夢を繋ぐ ～コーディネーターとは……～



こい姫



ようかん右衛門

地域おこし協力隊

学びの場を広げるコーディネーター

6か月目 (令和7年10月着任)

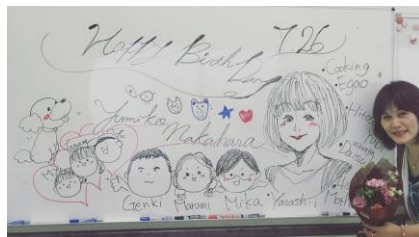
小城市 企画政策課

中原由美子

自己紹介

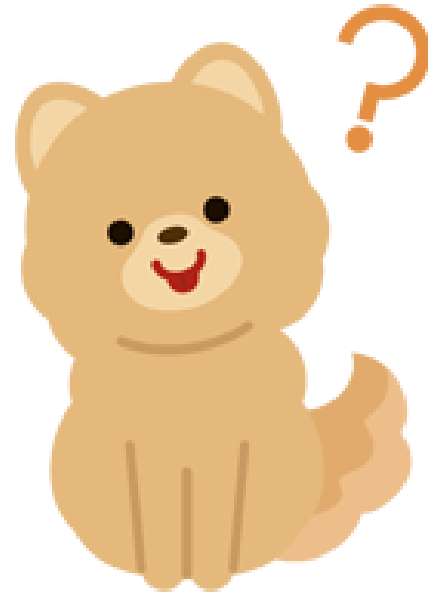
中原由美子

- ・ 小中高対象に約30年間学習塾経営（鹿島市・佐賀市中心）
- ・ 国際化社会に貢献できる人材育成
ホームステイプログラムを企画・実施（5か国）
- ・ 塾の延長で不登校対応のフリースクールをNPO法人で設立
- ・ 不登校アドバイザーとして、佐賀市・学校との連携の中で活動
- ・ 約2年議員秘書として、佐賀市中心に活動
- ・ 令和7年10月小城市地域おこし協力隊着任。芦刈町に移住。
（4女の勧めで応募）



（娘4人、それぞれ独立。長女夫婦は牛津在住）

学びを広げるコーディネーター
とは何ぞや？





「一日一日を積み重ね、
今日は明日に繋がる為の日！」

何ができるか！を考える

小城市内の皆さまへ

牛津高校では**県外**
生徒のための**下宿先**
を**募集**しています

県外からの入学生を迎える
ために、居場所を提供して
いただける「下宿先」を
募集しています！



◇条件の例◇

- ・個室を1部屋提供できること
- ・食事の提供ができること（朝・昼・夕または朝・夕）
- ・トイレ・浴室等の共用スペースを利用できること
- ・下宿生が卒業するまでの期間受け入れることが可能であること など

詳細な条件や必要な手続きについては、学校にお問い合わせください。

お問い合わせ先
佐賀県立牛津高等学校

電話番号: 0952-66-1811
(受付時間: 平日 9:00~16:30)

意識した3つのモットー

- 1 スモールミッション
- 2 アクション
- 3 スピード

ゼンリン地図片手で高校周辺訪問

活動1

1,スモールミッション

20人以上の人の声を聞く



実感！気づき！

少子高齢化（空き家・高齢者多い）

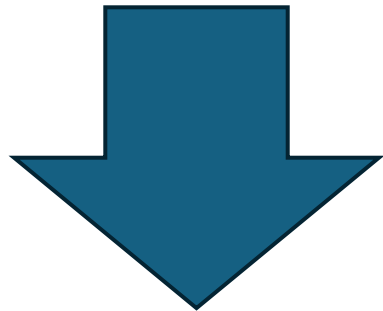
地元で頑張る後継者との出会い

小城の明るい未来を感じる！

2,アクション

活動1

勇気を出して、ピンポーン 51件



実感！気づき！

歩いた分だけ、その土地がわかり、
町の話題がある。

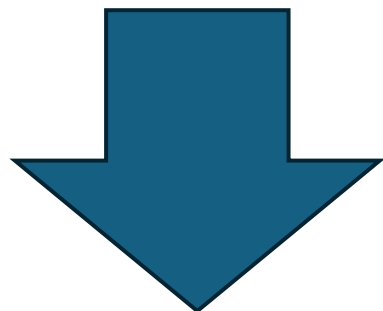
地元に関心した、悩みがある！

3, スピード

活動 1

だらだらはNG！ 集中3日間

(R7,10/8,9,14)



実感！気づき！

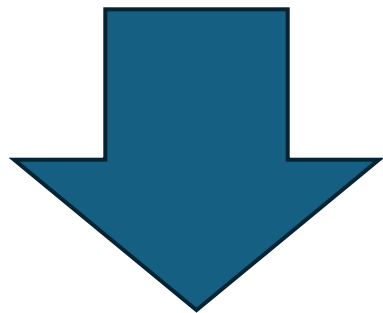
一気に回ると、ペースができる。
次の課題が見えてくる！

手応え感じて元気をもらおう！

2,アクション

活動2

訪問→検討→連絡→受取→お礼



実感！気づき！

最初の反応は「??」趣旨を理解頂き、
「??」が「!!」に変わった瞬間！

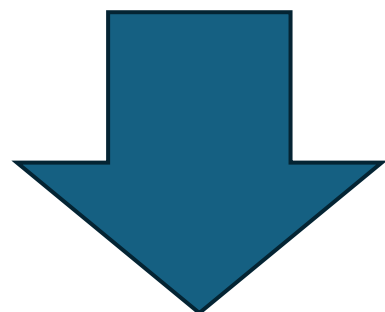
全ては小城で学ぶ学生の為！願いが重なり、繋がっていく！

3, スピード

年末年始集中訪問！

活動2

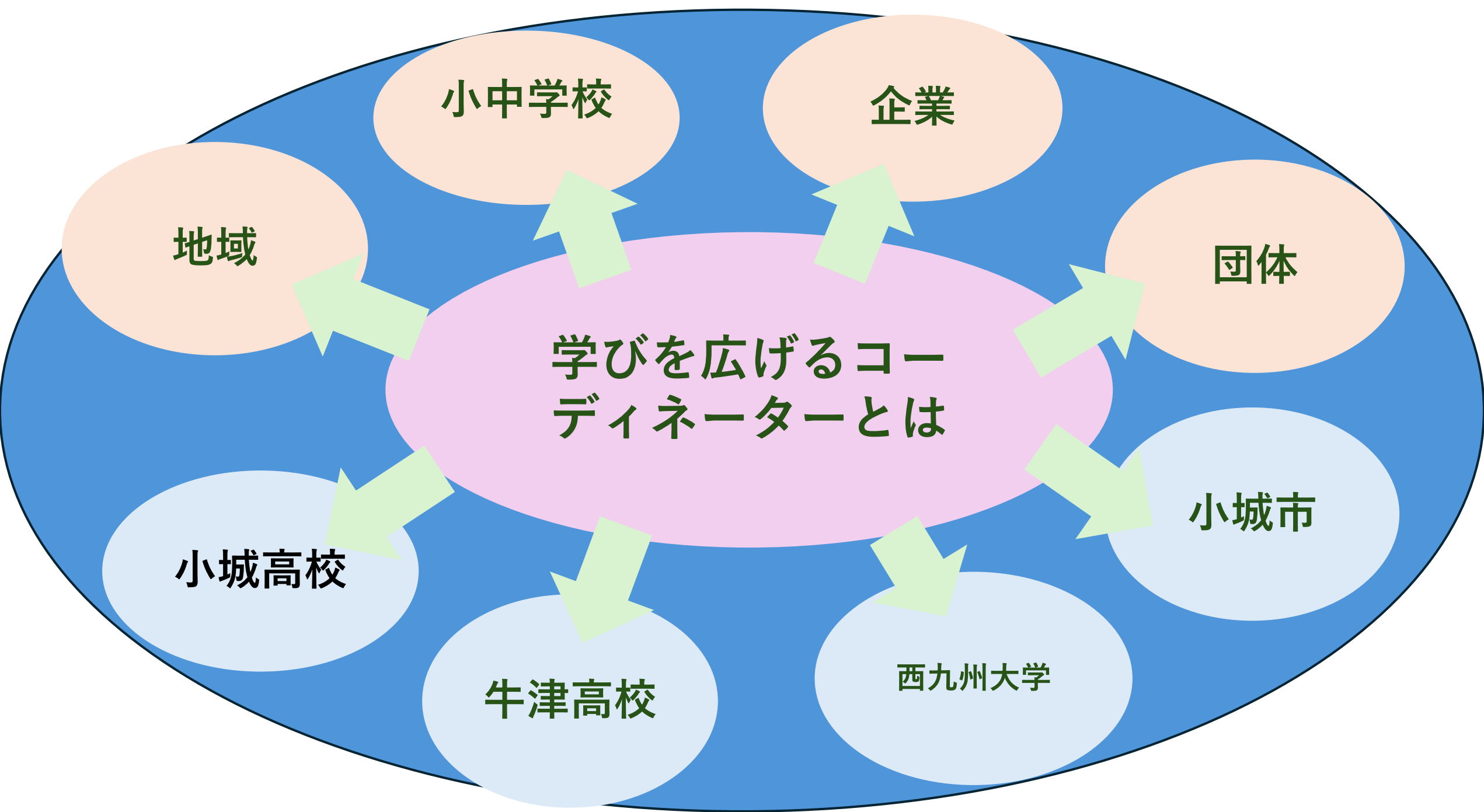
企画・起案・準備・訪問・お礼



実感！気づき！

短期間に3,4,5回顔合わせ、また来たの！
と思われながら、会うスピードもポイント！

次につながるボタンは・・・



小城高校

防災を学ぶ・発表する・体験する

高校生が避難所運営を学ぶ！
小城市×小城高等学校「防災講座」開催！

～次世代の地域防災の担い手を育成。避難所体験を通じて「守る力」を養う～
令和8年3月23日（月）13時30分～15時20分小城高等学校体育館にて、災害時に自らの身を守るだけでなく、家族や地域の人々を支える力を養うことを目的とし、市役所防災対策課職員を講師に招いた「防災講座」を実施しました。主催は小城高等学校家庭科（学校家庭クラブ活動）の先生、生徒さんが中心にグループワークで行いました。地域防災のリアルな教育現場として非常に視覚的なニュース性が高く、マスコミからの取材もありました。



壁画プロジェクト



おぎすたいる発表会



ま・まんでいイベントのボランティア



牛津高校

文化祭 オープニング

合 ホーム > 市政情報 > 産学官連携 > 牛津高等学校との連携 > 牛津高校生大活躍！

牛津高校生大活躍！牛尾梅まつり開催！

牛尾梅まつり

青い空・白梅の広がる、春のフォトタイム



出前授業



棚田部



食品調理科のランチ会



西九州大学

学食にて鯉こく提供



大学生へのアンケート実施

西九州大学の学生さんへ
住まいのアンケートにご協力ください

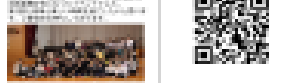
学年()年 性別()

- Q1.現在の住まいは？
-自宅(身内宅等) -アパート -寮 -シェアハウス
- Q2.今の住まいの環境に満足していますか？
-はい -いいえ(その理由)
- Q3.「住まいに一層求める条件はありますか？」
()
- Q4.住まいの周辺に何があったら生活が豊かになり、楽しいですか？
()
- Q5.吉原家や空き家で学生を対象としたシェアハウスがあれば、関心はありますか？
-ある(その理由)) -ない
- Q6.シェアハウス(2人から3人)に住むとしたら、月額いくらなら「借りたい」と感じますか？
-2万円~3.5万円未満(敷金がなくても安心)
-3.5万円~4.5万円未満(安さよりもある程度の敷金)
-4.5万円~5.5万円(敷金の充実、快適さ)
-5.5万円以上(敷金の充実、快適さ)
ご協力ありがとうございます。大学生の住まいのアンケートにさせていただきます。関心のある方はお気軽にご参加ください。

小城市 企画総務課 中瀬 (0952-37-6115)

西九州大学の皆さんへアンケートにご協力をお願いします。

- 学年()年
1. 住まいについてお尋ねします。今の住まいは小城市内ですか？
小城市内 小城市外(市町)
 2. 今の学生生活は充実していますか？
とても充実している・まあまあ充実している・充実していない・全然していない
 3. 2の理由をもう少し詳しくお書きください。
 4. 西九州大学看護学校に入学した後の手は何でしたか？
 5. 心に残っているボランティア活動は何ですか？
 6. 西九州大学・小城市・小城市高校・津高高校の包括連携のことはご存じですか？
知っている 知らない
 7. 小城市で地域を元気にするイベントを開催するとなら、どんなイベントがあればいいかをご提案ください。
 8. 今、困りごとはありますか？
 9. 卒業後は小城市に住みたいと思いますか？
 10. 小城市にあるといいと思うものはなんですか？



このアンケートは西九州大学の学生の皆さんがより良い学生生活を送るための参考資料として選んでいます。ご協力ありがとうございます。
(小城市地域おこし協力隊の増を応援するコーディネーター 中原 由美子)

参加者アンケートより

今日の交流・連携/レクリエーションの感想・意見ををお願いします。
・他組織の方々と交流できて良かったです。企業からの協賛品の多さに驚きました。(社会人)
・いろんな世代と真剣に楽しむことができました。運営どうもありがとうございました。(大学生)
・試合は負けただけと色んな人と戦えて、とても充実した時間でした！あと参加費が沢山貰えたので嬉しかったです。(高校生)
・色んな団体と交流できて、良い経験にもなったのでよかったです。せっかく色んな組織から人が集まるので、チームメンバーのシャッフルとかがあったらもっと交流できるのかもしれない。(社会人)
・想像の出来なかったです。小城市のたくさんの方々との交流ができてとても楽しかったです。(大学生)
・商品が豪華で楽しかったです。初心者でも楽しく参加できました！来年も参加したいです。(高校生)

公開講座

認知症予防
「Ushimaki」
西九州大学
地域看護研究研修
センター
公開講座
参加費 無料

開催日時
11/2
9:30~12:10 第2希望

講師
講師① 前田 美穂 准教授
講師② 佐藤 真由美 准教授
講師③ 佐藤 真由美 准教授
講師④ 佐藤 真由美 准教授

講師⑤ 佐藤 真由美 准教授
講師⑥ 佐藤 真由美 准教授
講師⑦ 佐藤 真由美 准教授
講師⑧ 佐藤 真由美 准教授

講師⑨ 佐藤 真由美 准教授
講師⑩ 佐藤 真由美 准教授
講師⑪ 佐藤 真由美 准教授
講師⑫ 佐藤 真由美 准教授

講師⑬ 佐藤 真由美 准教授
講師⑭ 佐藤 真由美 准教授
講師⑮ 佐藤 真由美 准教授
講師⑯ 佐藤 真由美 准教授

講師⑰ 佐藤 真由美 准教授
講師⑱ 佐藤 真由美 准教授
講師⑲ 佐藤 真由美 准教授
講師⑳ 佐藤 真由美 准教授

講師㉑ 佐藤 真由美 准教授
講師㉒ 佐藤 真由美 准教授
講師㉓ 佐藤 真由美 准教授
講師㉔ 佐藤 真由美 准教授

講師㉕ 佐藤 真由美 准教授
講師㉖ 佐藤 真由美 准教授
講師㉗ 佐藤 真由美 准教授
講師㉘ 佐藤 真由美 准教授

講師㉙ 佐藤 真由美 准教授
講師㉚ 佐藤 真由美 准教授
講師㉛ 佐藤 真由美 准教授
講師㉜ 佐藤 真由美 准教授

講師㉝ 佐藤 真由美 准教授
講師㉞ 佐藤 真由美 准教授
講師㉟ 佐藤 真由美 准教授
講師㊱ 佐藤 真由美 准教授

講師㊲ 佐藤 真由美 准教授
講師㊳ 佐藤 真由美 准教授
講師㊴ 佐藤 真由美 准教授
講師㊵ 佐藤 真由美 准教授

講師㊶ 佐藤 真由美 准教授
講師㊷ 佐藤 真由美 准教授
講師㊸ 佐藤 真由美 准教授
講師㊹ 佐藤 真由美 准教授

講師㊺ 佐藤 真由美 准教授
講師㊻ 佐藤 真由美 准教授
講師㊼ 佐藤 真由美 准教授
講師㊽ 佐藤 真由美 准教授

講師㊾ 佐藤 真由美 准教授
講師㊿ 佐藤 真由美 准教授



ソフトバレーボール大会 西九州大学学友会のサポート



西九州大学パパママ教室



協賛お礼
ポスター

(株)友樹飲料は
第2回包括連携プロジェクト
バレーボール大会を応援しました。
西九州大学・小城市高校・津高高校
小城市職員の皆さん、お疲れ様でした。

小柳酒造株式会社は
第2回包括連携プロジェクト
ソフトバレーボール大会を応援しました。

竹下製菓株式会社は
第2回包括連携プロジェクト
ソフトバレーボール大会を応援しました。

西九州大学・小城市高校・津高高校
小城市職員の皆さん、お疲れ様でした。

令和8年度活動予定

カタリバ・ラボ(案)

「学校でも家でもない、第3の居場所。カタリバ・ラボ in 小城」

毎日同じメンバー、同じ景色。ちょっとだけ、外の世界をのぞいてみませんか？

年齢の学生同士でお菓子を片手に「自分」や「これから」を語り合う時間。見慣れたはずの小城の町が、今日から少し違って見えるかも。

「自分を知りたい」「誰かと話したい」「小城を遊び尽くしたい」

そんなあなたの指、この指と～まれ！

半年後の目標

カタリバ・ラボの達成目標

☆約半年後の目標と評価指標

- ▶ アウトプットできる場所がある
- ▶ 自宅以外の居場所があり仲間がいる
- ▶ 「小城市の学校で良かった」と言える出会いができています
- ▶ 各学校から5名ずつ参加者がいる(15名前後)
- ▶ インスタグラムでの発信月3回
- ▶ フォロワー数で確認100人
- ▶ 小城市で働きと思う生徒が3人はいる

3年後の目標

カタリバ・ラボの達成目標

☆3年後の目標と評価指標

- ▶ カタリバラボの名前の定着
- ▶ 入りたい学生が待ち状態
- ▶ 小城市最高！と自ら行動する学生のラボ
- ▶ 各学校から10名ずつ参加者がいる(30名前後)⇒学校が変わっていく
- ▶ インスタグラムの発信週1回以上更新
- ▶ フォロワー数1000人
- ▶ 小城市で企業したい高校生大学生が3名いる

趣味から事業化へ（自分への挑戦）

研修日程	1月 20日	フリガナ氏名	ナカハラユミコ 中原由美子	活動地域	佐賀県小城市	
地域おこし協力隊 起業・事業化研修実践編 事業計画シート		活動年数	4ヶ月	活動テーマ	学びの場を広げるコーディネーター	
事業名（事業を一言で表すと）		事業の理念（なぜやるのか）				
マッチングOGI ～結婚、子育て、セカンドライフに夢や希望を持てる小城市の実現を～		・子育ては「大変！」というより、子育ては自分育て！と思ったら、少し楽になったりする！私自身、離婚、4人の子育て、母親の自宅での看取り通して、一度は結婚してもいいじゃない！と言って、お相手を紹介している。結婚を諦めていたり、結婚願望がなかった男女が素敵なカップルとして誕生してくのは、何とも微笑ましい。子どもを授かったと聞くより更に感動。幸せのおすそ分けを頂いている。 ・人は1人では生きられず、誰かを支え、誰かに支えられ、自分を大切に生きて欲しい、そんな願いを込めての事業化である。 ・年齢幅を広くしたのは、セカンドライフの場合は結婚にこだわらない形でも十分。人生を楽しめる出逢いの機会も準備したい。				
事業の背景（自身の原体験・地域課題など）		事業のターゲット（誰に提供するのか）		事業の価値（どんな価値を提供するか）		
1,地域でお世話する人が少なく、人を繋ぐコーディネーターが少ない。自らマッチングをしてきたことを事業化したい。 2,未婚の数が男女共に増え、出生率が低下している 3,地域で一緒に遊んだり、活動したり、食事をする場所が少なく、不安な孤立した一人暮らしが増えていること		独身男女 30歳以上70歳位まで・・・ 市外県外大歓迎		1, その方に寄り添うコーディネーターとしての役割を果たす。 2, 婚姻率が上がり、出生率も上がり、 人口増 。人1人の存在の大きさ、いのちの尊さを感じる、あたたかな小城市づくりに貢献できる。 3, 心安らぐ、ふれあいの 場所が広がり 、出会いの場にもなり、小城市の居場所が増えていく。		
事業内容・体制（どんな事業で、どのような体制で実施するのか）				成長戦略・持続可能性（どのように事業を成長させるか）		
マッチングOGI 事業内容 1, イベント開催 独身男女が集まる交流イベントやパーティーを企画・運営する。（特徴は直接会って交流できるため、参加者満足度が高い場合が多い） 2, 個別マッチング・相談（月契約会員制） コーディネーターや縁結びサポーターが間に入り、個別の相談や一対一のマッチングを仲介する。（特徴はきめ細やかなサポートが可能、成婚率の向上が期待できる。） 3, 企業・団体との契約（年契約会員制） 小城市内の企業・団体に対するの福利厚生（従業員支援）の一環としてのサービスを導入。（特徴は社員への定期的なイベントや情報を提供、チャンスを作る。） 4, ふれあいの場の拡充（景色を眺めながらの語らいや静かな音楽を聴きながらのコーヒータイトム、自然豊かな小城市の居場所を発掘し、情報発信） 運営体制 1, 事業責任者 中原由美子 2, システム開発 3, イベント企画・運営担当 4, カウンセラー 5, マーケティング 6, 事務・総務 今後、検討				1, 小城市との連携を検討する。（イベントの連携、後援）（事業委託、補助金の活用） 2, 地域密着型のサービスの具体案（イベント中心運営） （縁結びサポーターとのフォローアップ）（地元企業・団体との契約） 3, ビジネスモデルと収益性（会費制）（イベント参加費）（成功報酬型） 4, 法的対応と留意点（個人情報管理体制）		
事業のゴール（どのような未来を描くか）				小城市全体の 人口減少対策・少子化対策の推進・行政支援・地域活性化に貢献		